

# 京都府感染症情報センターからの最新情報

(2025 年第 9 週 : 令和 7 年 2 月 24 日 ~ 令和 7 年 3 月 2 日) No. 661

京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生

**今週のコメント :** 2025 年第 9 週の報告です。

**感染性胃腸炎**は今週もわずかに増加、京都市南区の**警報レベル**も継続中です。山城北の**咽頭結膜熱**・京都市右京区の**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**・京都市南区の**伝染性紅斑**も引き続き**警報レベル**です。その他、眼科定点は**流行性角結膜炎**が 4 件、基幹定点は**マイコプラズマ肺炎**が 6 件・**クラミジア肺炎**が 2 件報告されています

全数報告対象疾患は、**結核**が 4 件、**レジオネラ症**・**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**・**後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)**と**梅毒**がそれぞれ 1 件、**侵襲性肺炎球菌感染症**が 2 件、**百日咳**が **9 件報告されました。**

**百日咳の報告が急増しています。**府内の報告は昨年 1 年間で 65 件でしたが、今年は年始から今週までで既に 56 件に上っています。地域別にみると山城北で 22 件、京都市で 20 件と偏りが見られ、局地的な流行も懸念されます。患者は **10 代前半**が最も多く、次いで **0 歳児**も多く報告されています。40~50 代の患者も一定数報告されています。0 歳児、特に生後 6 カ月未満の乳児は罹患すると肺炎や脳症を合併して重症化するリスクが高く、まれに致死的になります。ワクチンは定期接種で、**生後 2 か月から**初回の接種が始まります。2024 年度以降、5 種混合ワクチン (ポリオ・百日咳・破傷風・ヒトインフルエンザ菌感染症・ジフテリア) が主に用いられています。本症は激しい咳を特徴としますが、ワクチンを接種している場合、典型的な症状が現れないこともあります。特に乳児に接する機会の多い方や出産予定の方は、咳が長引く際は、早めに医療機関を受診するようお願いいたします。

※5 種混合ワクチンについての詳しい説明はこちらのホームページをご確認ください。

[5 種混合ワクチン | 厚生労働省](#)

---

京都府感染症情報センターホームページのアドレス : <http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

**注意 :** 上記の下線部分の内容をご覧になりたい方は、パソコンの「Ctrl ボタン」を押しながら **青文字下線部分**をクリックしていただきますと、閲覧することができます。

# 最新の府内の発生状況（2025年第09週）

## 全数把握疾患

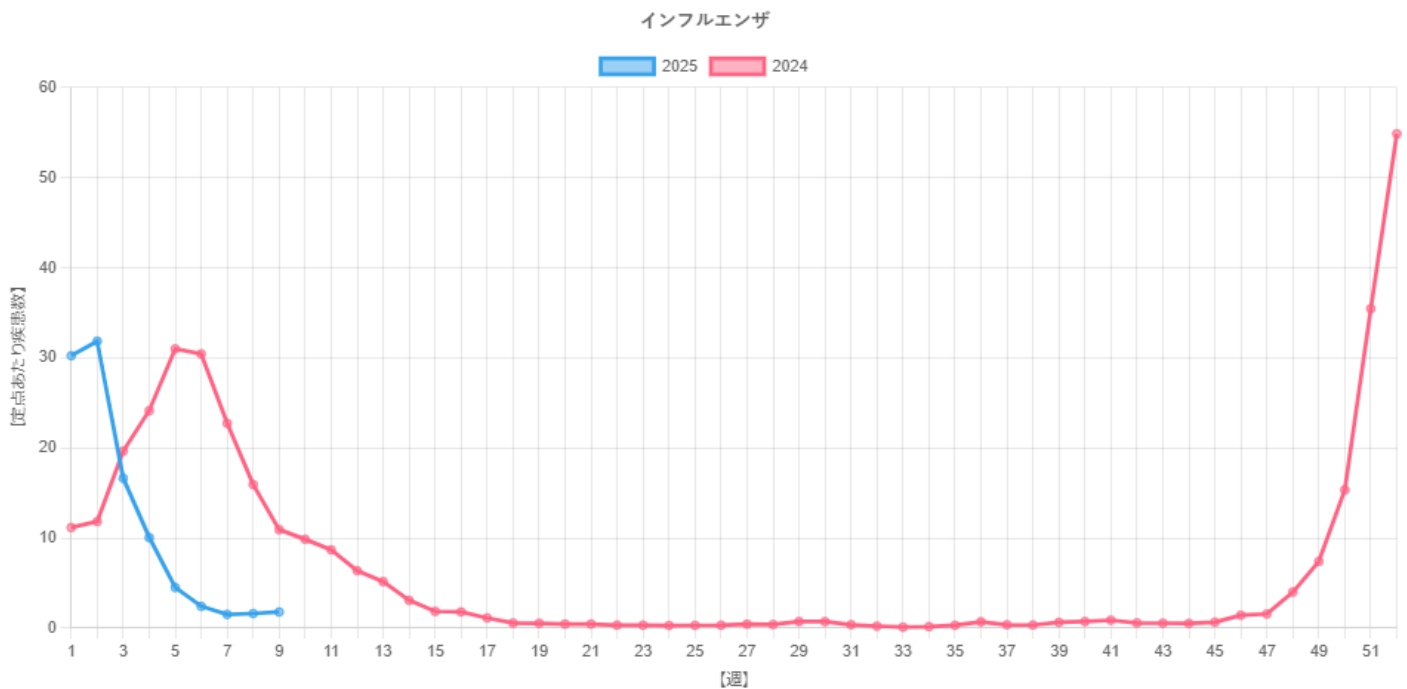
分類	報告
1類感染症	報告がありません
2類感染症	結核が4件報告されました
3類感染症	報告がありません
4類感染症	レジオネラ症が1件報告されました
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症・後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）と梅毒が各1件、侵襲性肺炎球菌感染症が2件、百日咳が9件報告されました
<a href="#">全数報告一覧へ</a>	

基幹定点 マイコプラズマ肺炎が2件報告されました  
 眼科定点 流行性角結膜炎が4件報告されました

## 定点把握疾患

疾患名	定点当たり報告数	前週比	注意報・警報
インフルエンザ	1.78	↑	
COVID-19	3.52	↓	
R S ウイルス感染症	1.08	↑	
咽頭結膜熱	0.55	↑	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.47	↓	
感染性胃腸炎	6.89	↑	
水痘	0.11	↓	
手足口病	0.03	→	
伝染性紅斑	0.49	↑	
突発性発しん	0.17	↓	
ヘルパンギーナ	0	→	
流行性耳下腺炎	0.09	↑	
急性出血性結膜炎	0	→	
流行性角結膜炎	0.22	↑	

**インフルエンザ**：報告数は昨年度に比べて減少傾向です。



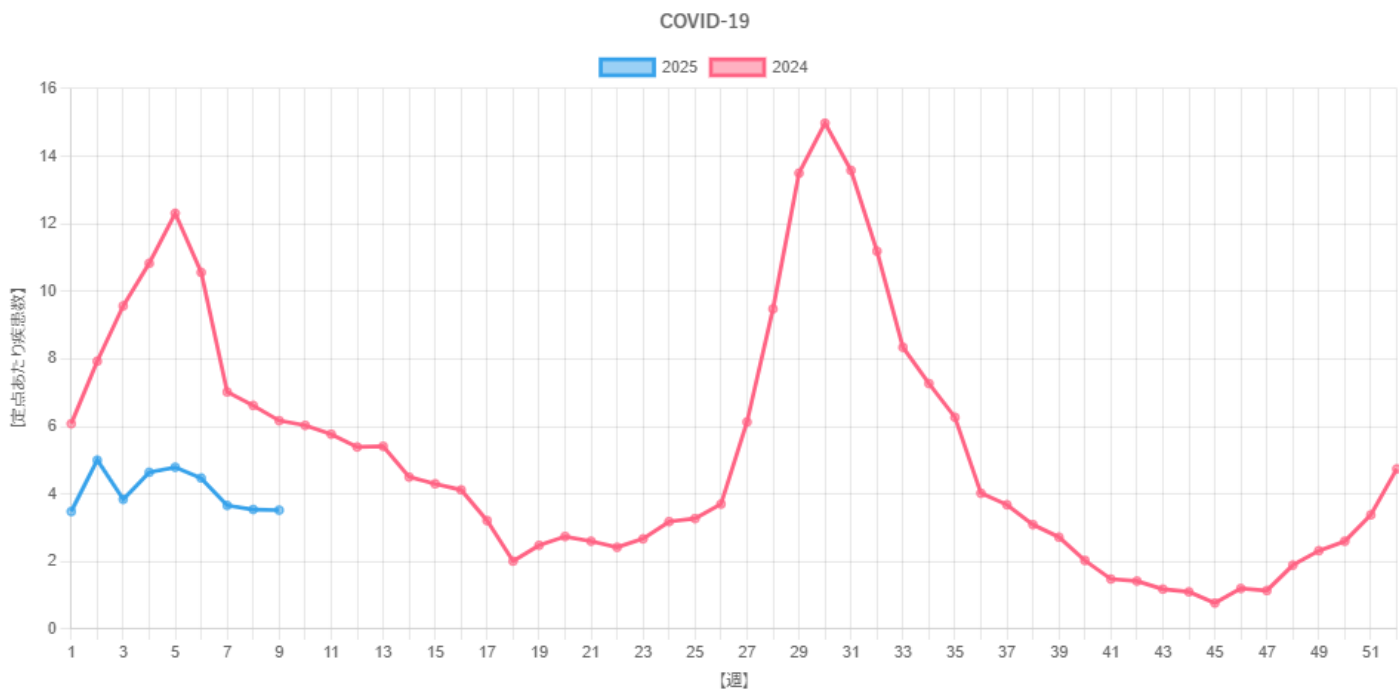
## 基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告件数の推移

- 2024年第45週:令和6年11月4日～令和6年11月10日: 30件
- 2024年第46週:令和6年11月11日～令和6年11月17日: 33件
- 2024年第47週:令和6年11月18日～令和6年11月24日: 22件
- 2024年第48週:令和6年11月25日～令和6年12月1日: 16件
- 2024年第49週:令和6年12月2日～令和6年12月8日: 15件
- 2024年第50週:令和6年12月9日～令和6年12月15日: 18件
- 2024年第51週:令和6年12月16日～令和6年12月22日: 11件
- 2024年第52週:令和6年12月23日～令和6年12月29日: 10件
- 2025年第1週:令和6年12月30日～令和7年1月5日: 6件
- 2025年第2週:令和7年1月6日～令和7年1月12日: 10件
- 2025年第3週:令和7年1月13日～令和7年1月19日: 12件
- 2025年第4週:令和7年1月20日～令和7年1月26日: 2件
- 2025年第5週:令和7年1月27日～令和7年2月2日: 9件
- 2025年第6週:令和7年2月3日～令和7年2月9日: 2件
- 2025年第7週:令和7年2月10日～令和7年2月16日: 3件
- 2025年第8週:令和7年2月17日～令和7年2月23日: 6件
- 2025年第9週:令和7年2月24日～令和7年3月2日: 2件

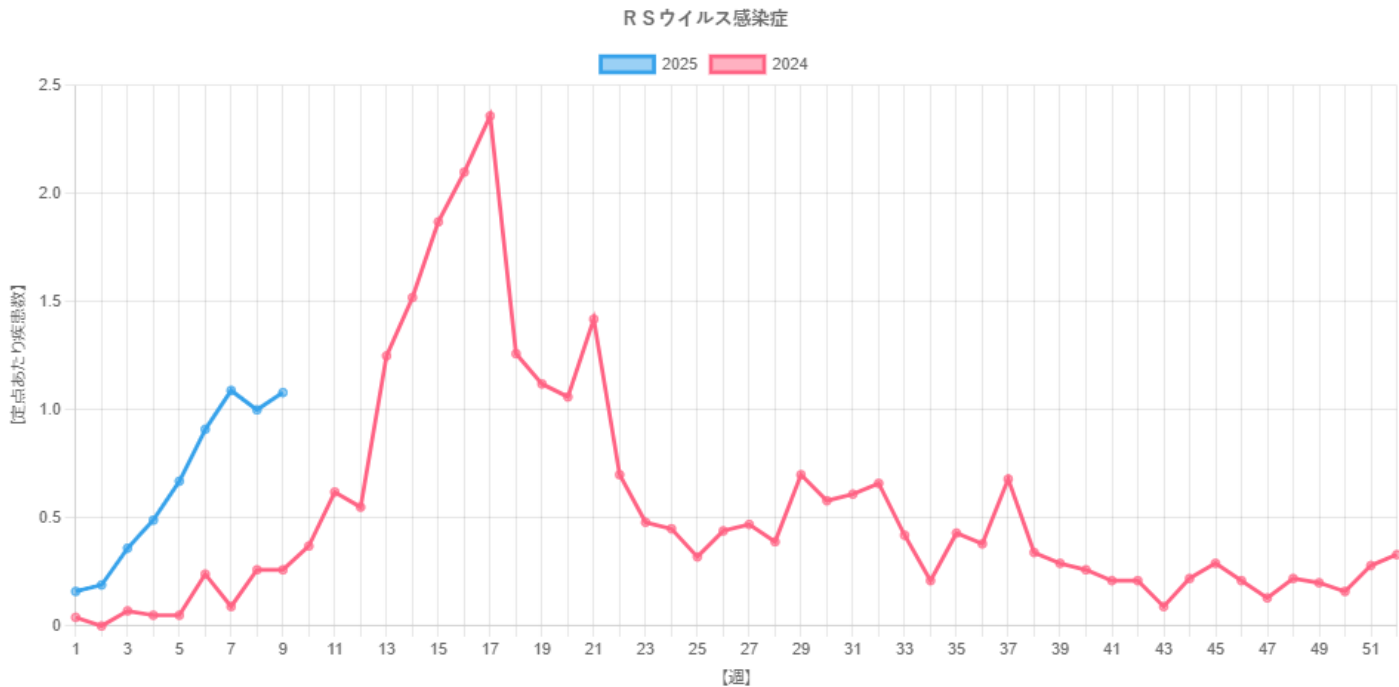
⇒ マイコプラズマ肺炎の報告件数は、変動しつつも減少傾向にあります。



**COVID-19** : 2024 年に比べると少ないものの、なお報告数は横ばいです。



**RS ウイルス感染症** : 2024 年に比べると増加傾向にあります。



咽頭結膜熱：今週も山城北で**警報レベル**が継続しています。

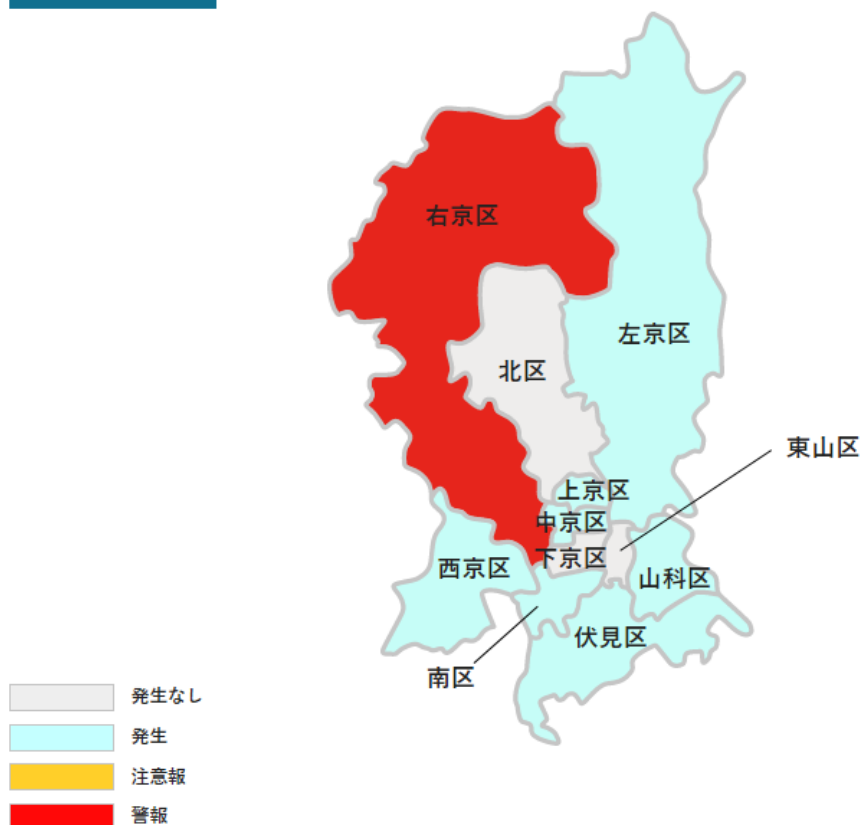
京都府全域



	罹患数	定点当たり
乙訓	2	0.5
山城北	25	2.5
山城南	2	0.5
南丹	-	-
中丹西	2	0.67
中丹東	5	1.25
丹後	2	0.5

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週も京都市右京区で**警報レベル**が継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	-	-
上京	4	1.33
左京	4	1
中京	1	0.33
東山	-	-
山科	5	1
下京	-	-
南	6	1.5
右京	28	5.6
伏見	2	0.4
西京	4	0.8

**伝染性紅斑**：今週も京都市南区で**警報レベル**が継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	-	-
上京	-	-
左京	1	0.25
中京	-	-
東山	-	-
山科	2	0.4
下京	-	-
南	9	2.25
右京	7	1.4
伏見	2	0.4
西京	4	0.8



**感染性胃腸炎**：今週も京都市南区で**警報レベル**が継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	11	2.75
上京	13	4.33
左京	26	6.5
中京	4	1.33
東山	10	5
山科	40	8
下京	-	-
南	66	16.5
右京	67	13.4
伏見	69	13.8
西京	27	5.4

